

感染症対策講習会 ノロウイルス対策

福山・府中地区保険対策協議会

2018年11月5日

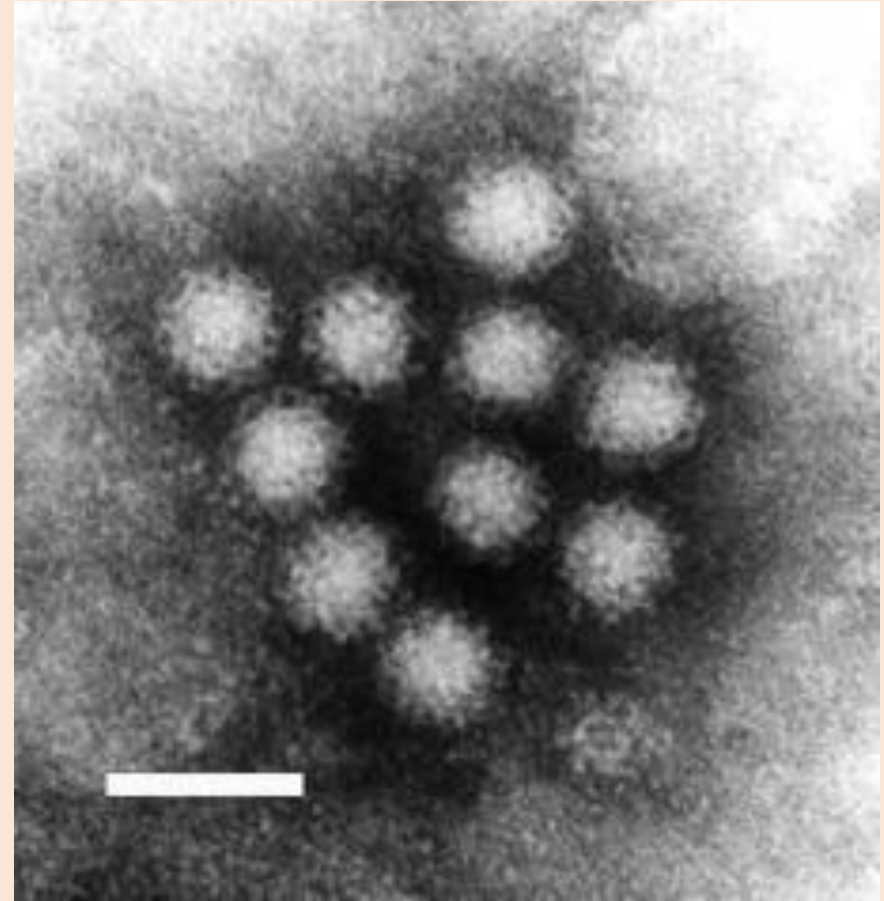
本日の内容



- ノロウイルスの特徴
- 個人の留意点
- 組織の留意点
- 家族への対応
- 集団感染が疑われたら
- 消毒
- 登園の目安
- セントラル病院 おもひで

ノロウイルスとは

- 1968年に米国ノーウォークで発見
- 直径0.03 μm ほぼ球体
- 2003年（米国では2002年）ノロウイルスと命名される
- エンベロープを持たない
- 約7,500の塩基からなる1本鎖RNAを持つ
- カリシウイルス科に属し、Genogroup I, Genogroup IIの群に分けられ、さらにそれぞれ15以上のGenotypeに分類される



Wikipedia : ノロウイルス

ノロウイルス感染症

- 食中毒です
 - 冬に流行するので、食中毒警報は出ません
 - 10~100個程度のウイルスで感染する
- 小腸に局限した感染症
- 免疫の主体はIgA抗体と考えられる
- 免疫の持続期間は6ヶ月から2年と言われている
- 嘔吐・糞便中には数千万~1億のウイルスが存在する
- 50%は症状がない
- 直接的な治療法はない
- アルコール消毒は効かない（とされている。でも効く）

ノロウイルス感染症

□主な症状

- 吐き気 嘔吐 下痢 腹痛
- 発熱は軽微

□特徴

- 突然の強烈な嘔吐

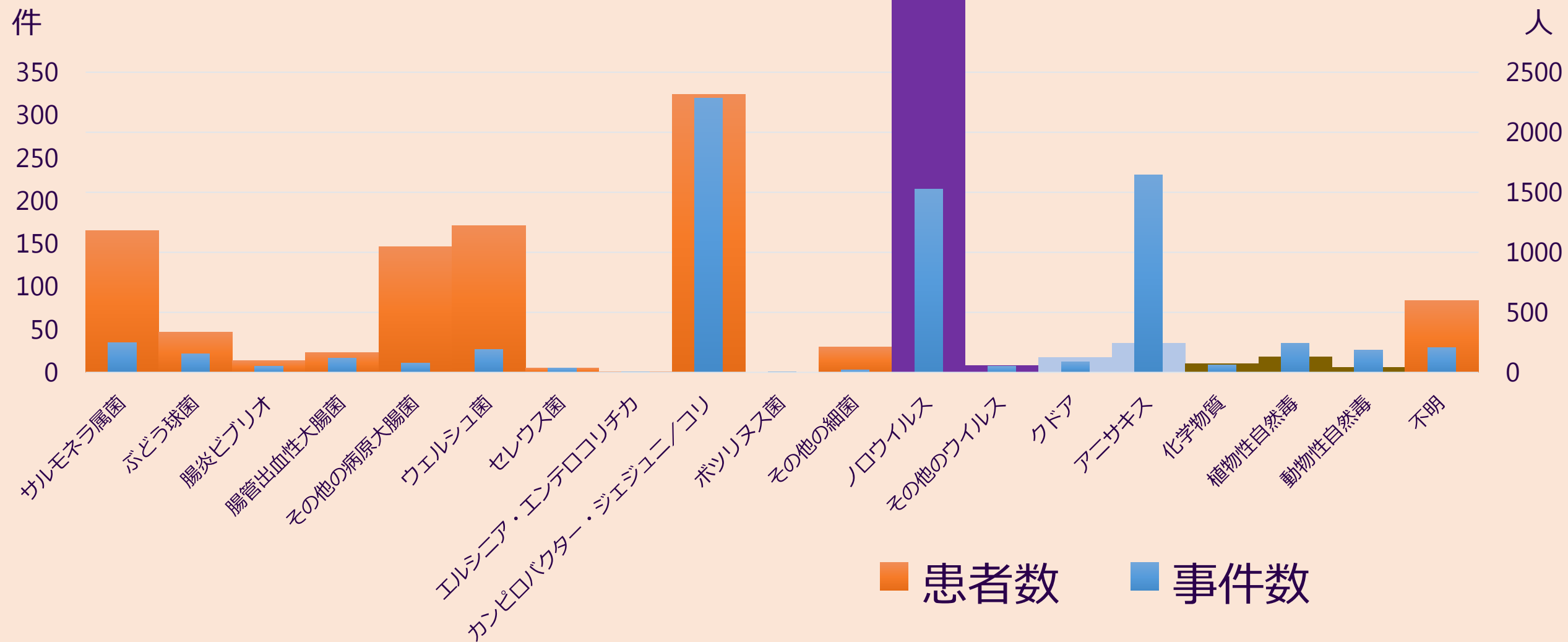
□後遺症

- 特にない



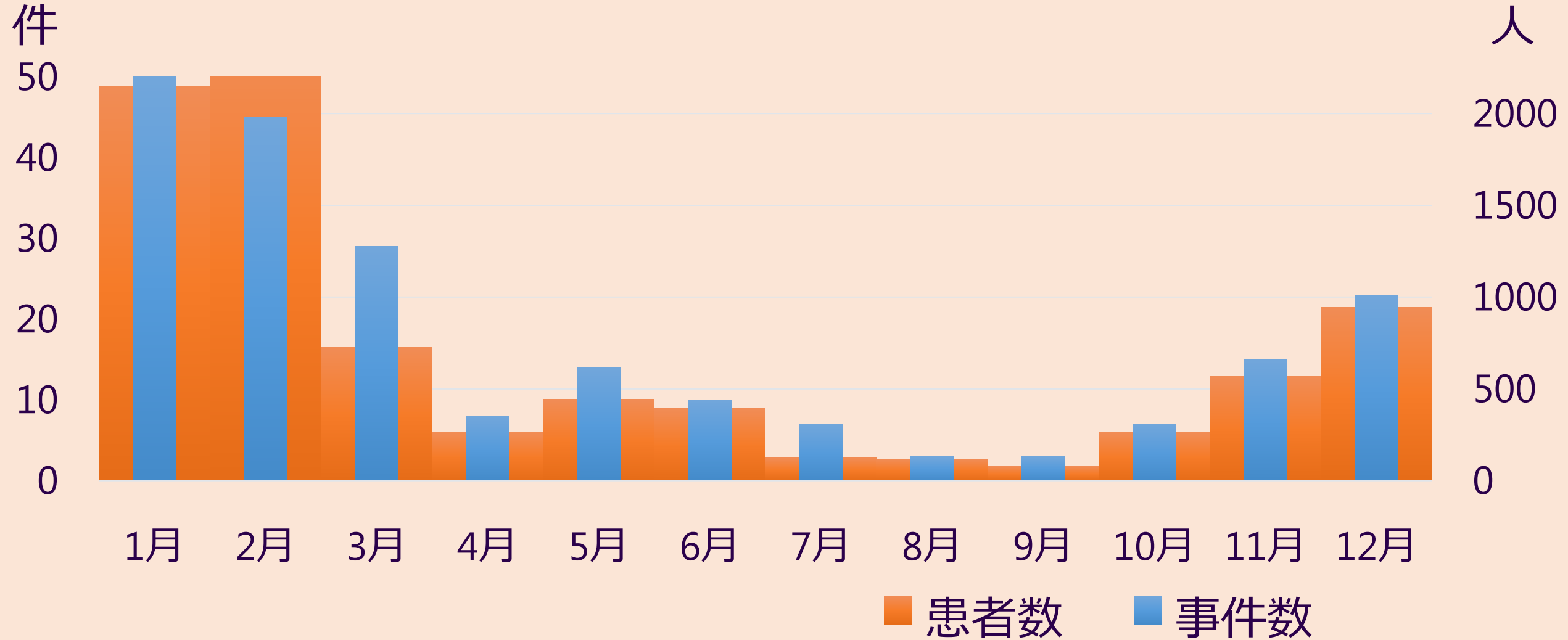
<http://plaguegirl.wordpress.com/>

食中毒の原因



■ 患者数 ■ 事件数

食中毒発生状況 ノロウイルス



感染経路



個人の留意点

- 自身の健康状態を把握する
- 症状がある場合、隠さず職場へ報告する
- 日頃から手洗いを習慣づける
- 下痢止めはかえって危険
- 家族にノロウイルス感染者が居たら、職場でも情報共有する

組織の留意点

- 情報を隠さない
- 情報は一元化する
- 子供の日頃の状態把握を行う
- いざというときに対応できるように、訓練する
- 吐いた子供のケアには、3人以上が必要
 - 着替え、付き添い
 - 吐物処理
 - 他の子供の誘導、感染拡大の防止

ノロウイルス胃腸炎者の対応

- 嘔吐物・糞便に触れた後は手洗いを正しく行う
- 別室で対応し、他児と接触しないようにする
- 嘔吐物などの感染源は、早期に処理する
 - 処理の方法・必要物品は演習しましょう
- ウイルスで汚染された箇所は、次亜塩素酸ナトリウムや熱で消毒する

手洗い 忙しくても手洗い！



家族への対応

- お迎えをお願いする目安を周知しておく
 - 下痢便が3回以上出たら
 - おう吐したら
- お迎えは、感染拡大の為ではなく、子ども
もの不安、つらさを和らげるため
- 誰からうつされたのか、という犯人捜し
はしない

集団発生時の報告について

- 同一の感染症による、または疑われる死亡者や重症患者が1週間以内に2名以上発生した場合
- 同一の感染症、またはそれらが疑われる者が10名以上又は全利用者の半数以上発生した場合
- 通常の発生動向を上回る感染症などの発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合

消毒 洗淨が絶対条件

□ 熱

- 85°C以上の熱に1分間以上

□ 次亜塩素酸ナトリウム

- おもちゃ
 - ： 0.02%で10分浸漬
- 嘔吐した場所、使用したトイレ
 - ： 0.1%で湿式消毒後、水拭き
- 汚染した服
 - ： 次亜塩素酸ナトリウムは現実的ではない

次亜塩素酸Na水溶液の作り方

□ハイターは、次亜塩素酸ナトリウムが約5%含有

□ワイドハイターには含有していない

□0.1%次亜塩素酸Na水溶液500ml...

● $500 \times 0.1 = (\text{必要なハイター量}) \times 5$

➤答えは10mlです

酸性電解水は有効か？

- 次亜塩素酸Naと比べて、低濃度でも高い殺菌力を発揮する
- 同じ効果を発揮する場合

	酸性電解水	次亜塩素酸Na
有効塩素濃度	10-60mg/kg	100-200mg/kg

- 濃度が低く、不活化効果を期待しにくい

登園の目安



- おう吐、下痢などの症状が治まり、普段の食事がとれること
- 症状が消失した後、48時間を経過すること
- 登園届の取り扱いを決めておく

セントラル病院のおもひで



環境消毒



- 1,000ppmの次亜塩素酸で環境清拭
- 毎日10時・16時
- トイレ・詰所・手すり・共有スペース
- カルテ

- 換気が大事でした



まとめ

- あわてず、しっかりと日々の対策を行う
- 日々の対策をケチらない
- 迷ったら手洗い
- 情報の共有を行う
- 全員が同じことが出来る体制を整える
 - 吐物処理
 - オムツ交換
 - 調乳
- 牡蠣の生食は命がけ

参考文献

- 中込治: 話題の感染症：ノロウイルス感染症：最近の研究の展開. モダンメディア 2004;50(6):133-42.
- ノロウイルスの流行と集団免疫. 病原微生物検出情報 IASR. 2017. p. 10-1. Available from <https://www.niid.go.jp/niid/ja/allarticles/surveillance/2401-iasr/related-articles/related-articles-443/7019-443r04.html>.
- 福山市保健所: ノロウイルス対応マニュアル（施設偏）. 福山市; 2013.
- 高齢者介護施設における 感染対策マニュアル. 東京: 三菱総合研究所; 2013.
- 保育所における感染症対策ガイドライン. 厚生労働省; 2018.
- 五十君静信, 野田衛, 上間匡: 平成27年度 ノロウイルスの不活化条件に関する調査報告書. 国立医薬品食品衛生研究所 食品衛生管理部.